



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第759号
平成30年9月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

No.
759
2018 10月号

よっ!新風人



CONTENTS

みんなで取り組む地域共生・信州	2
福祉保険サービス広告	5
県社協情報局	6
おらほの縁パワー活動!	7
よっ!新風人・今月の逸品・ざわめくアート	8

法人連携で 次代の福祉を担う人を 育てる

福祉現場では慢性的な人材不足が課題となっています。介護福祉士養成校の定員割れが深刻化するなど、介護を目指す若者が減少する中で、次代を担う小中学生への働きかけも充実していきたい活動の1つです。法人連携による小中学生等への福祉PR活動の可能性を考えます。



1 人材確保と小中学生への福祉PR事業の状況

平成29年度介護労働実態調査によると、全国では福祉・介護事業所の67%が人手不足を感じています。また、介護福祉士養成校の入学者は今年度定員の5割を切っています。

長野県社会福祉協議会では、小中学生の段階から、福祉の仕事の魅力と、安定したやりがいのある職場であることを伝えるため、学校を対象とした訪問講座に取り組んでいます。しかしながら県内全ての小・中学校のうち、訪問できていないのは1割に届きません。

2 社会福祉法人のイメージアップ戦略

全国社会福祉法人経営者協議会では、昨年度末にイメージアップ戦略をまとめた、「地域で福祉を担う人材を育成する」という視点の重要性を指摘し、「それぞれの地域で若者や学生が福祉の仕事で働きたいと思ってもらえるように、次代を担う人材を地域で育てていく」という活動を推進しています。

3 法人連携で育てる取り組み

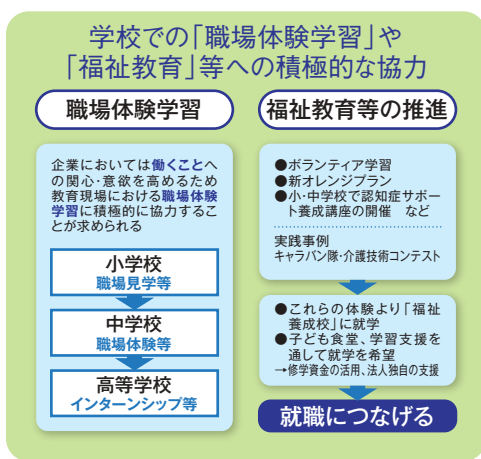
群馬県老人福祉施設協議会では、これまで各施設が個別で関わっていた地域の小中学校等での福祉体験学習や職

場体験学習の受け入れを、県内全域で取り組むことにより、福祉や介護分野に興味を持つ人の拡大を狙った「知ってもらおう介護の仕事」事業を平成27年度から実施しています。

長野県安曇野市では、社会福祉法人の担当者呼びかけで、法人連携で地域の小中学校への福祉PR活動を進めるためのキックオフミーティングが開かれました。

各法人は、これまでも学校への働きかけに取り組んでいますが、法人連携により、点と点ではなく、面的に取り組んでいきたいという思いがあります。

法人連携による次代の福祉を担う人を育てる取り組みについて取材しました。



※全国社会福祉法人経営者協議会「社会福祉法人との接点をもつ人々へのイメージアップ、理解促進の着眼点」(平成30年3月31日)から

群馬県

群馬県老人福祉施設協議会

「知ってもらおう介護の仕事」事業

群馬県老人福祉施設協議会 会長 井上光弘さん

広報委員会委員長 今井洋子さん

中学校等に向いて介護職の魅力を伝える

群馬県老人福祉施設協議会（以下老施協）では、事業者が学校で、介護職の魅力を発信し、理解と人材確保を目的とした「知ってもらおう介護の仕事」事業を行っています。

「介護職の3Kというイメージを払拭したい。給料も他と比べても安定して決まらずに低くない」と話すのは、



井上会長（右）と今井広報委員長（左）

老施協会長の井上光弘さんです。平成24年から西毛ブロックで介護職のPRを始めました。「就職説明会では、待っていても参加者が集まらない」と、地元地域の中学校等に向いて、授業で生徒たちに直接介護職の魅力を伝える活動をスタート。平成28年度から、県の助成金を活用して全県へ展開しています。50分、80分など、学校の時間割に合わせたプログラムを老施協が開発。授業では、まずマスコットキャラクターのGちゃんを活用し、楽しいイメージをアピールします。現場の様子をスライドで説明したり、若手の先輩たちが職に就いたきっかけとやりがいを話したりします。そして車イスなどを使い福祉の仕事を感じることができる仕掛けも取り入れています。初年度は24校、29年度は32校で開催しました。中学生のアンケートでは「介護の仕事を通して人々の笑顔を与えられるのは素晴らしい」などの好反応が寄せられています。



中学校の授業で若手スタッフが介護の魅力を語る

「効果は大きい。この事業をきっかけに地域の介護施設に就職した子もいる」と井上さん。「子ども達に訴えることで保護者の理解も進む」とも言います。事業所と学校とのパイプもできて、職場体験やボランティア受け入れの場として活用され始めた事例もあります。「現場でお年寄りからありがとうと褒められる経験が自信へつながる」と、井上さんは介護職体験の魅力も語ります。

広報委員会委員長の今井洋子さんは、「学校へは歳が近い若手スタッフを連れていくようにしている。素直な生徒の反応に、スタッフ自身が感激し、やる気向上にもなっている」と話します。また「先生方も福祉教育の一

環として捉えてくれる」と学校側の評価も上々です。さらには、「施設側の職場環境改善へも効果があるのでは」と今井さんは期待しています。「今年で3年目に入り、全県で中学100校でのプログラム実現を目指したい」と井上さん。事業者と学校とのマッチングについては、今年度から4つのブロックごとに割り振り、施設側が直接学校にアプローチしていく方法をとっています。

本事業の成果は、西毛ブロックの取り組みから全県で427の福祉・介護事業所が加盟する老施協全体での取り組みに発展したものです。また、行政や群馬県社会福祉協議会、教育委員会、学校との協働が深化していることも大きな成果となっています。今後ますます福祉人材の確保・育成、そして学校を含めた地域全体の福祉教育へとつながることが期待されます。



群馬県老施協のGちゃんは平成25年に公募して制作

安曇野市

福祉人材育成と啓発活動

「介護のすそ野を広げる会 (仮称)」発足

介護老人保健施設有明苑

中岡理恵さん(副施設長補佐・支援相談員)

「介護の仕事をもっと知ってほしい。子どもたちに働きたいと思ってほしい」。8月26日、松本市内で安曇野・松本地域の8福祉施設の職員や、福祉関係者、企業、教育関係者ら22人が集まって交流会「介護のすそ野を広げる会(仮称)」を行いました。

仕掛人は介護老人保健施設有明苑総務部門の中岡理恵さんです。中岡さんは、県内外の学生向け就職説明会で、関係者からの「介護の仕事は大変だから」の発言に憤りを感じました。「介護職は達成感も得られるのになぜ理解



仕掛け人の有明苑の中岡理恵さん

されないのか」と悩んでいました。県担当課職員からは複数の事業所で活動すればどうかとのアドバイスを受けました。

そして、地域で仲間づくりをと、長野県社会福祉協議会のキャリア支援専門員に相談。介護用具を取り扱う(株)響笑社長の小坂信さんにつながります。小坂さんは昨年、安曇野市でNPO法人Ubdobe代表理事の岡勇樹さんを迎えて、介護の楽しさを伝える啓発イベントを開催していただきました。

中岡さんは地域の福祉施設をよく知る小坂さんの紹介で、同じ思いを持った複数の事業所を訪ね、協働の重要性を訴えました。「こんなにたくさんの方に賛同いただけると思わなかった」と中岡さん。口コミが広がり今回の交流会に至ったのです。参加者で介護老人福祉施設サルビア職員の清澤秀彦さんは、「互いに人材を取り合う時代は終わった。手を結び地域全体を良くし



経緯を説明するキャリア支援専門員の今本陽子さん(左)

ていきたい」と期待を寄せます。

これを機に会発足の地固めをし、前記NPOと協力した小学校でのワークショップや、やりがいのための介護職員の研修などを企画していく予定です。

長野県福祉人材センターの主な取り組み

福祉・介護人材マッチング支援事業

- キャリア支援専門員による、個々の求職者に応じた就労支援や、事業所に対し働きやすい職場作りに向けた指導・助言
- 職場説明会の実施等

お問い合わせはこちらへ

長野県福祉人材センター
TEL.026-226-7330
東信事務所
TEL.0268-71-5589
中信事務所
TEL.0263-88-0180
南信事務所
TEL.0265-96-7847



本会の福祉PR事業では、障がいのある職員が自らの体験を踏まえて福祉の仕事の魅力を子どもたちに伝えています。

福祉職場PR事業

- 将来の担い手である中高生等に、福祉職場のやりがい・魅力を伝える訪問講座を開催

福祉の職場体験事業

- 専任コーディネーターが、福祉職場の就業体験希望者と受け入れ可能施設のマッチングを行い、福祉の仕事を経験する機会を提供

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)			500円	710円

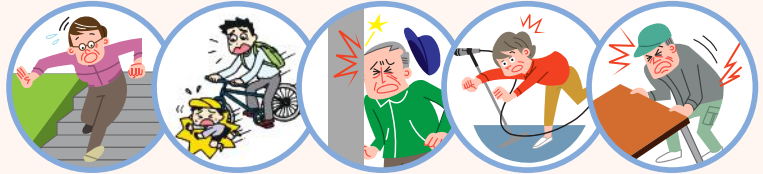
http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK17-16970 2018.1.9作成)

平成30年度

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	新設 徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円
	傷害見舞費用		

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補基本	1~50名	35,000~61,460円
補基本	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用	基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員等の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆30年度新設 クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

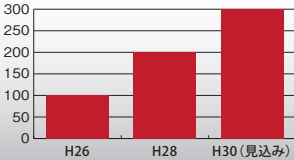
取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJNK17-17293 2018.1.12作成)

地域づくりを“我が事”に… 住民リーダー&コーディネーター大集合!!

今、地域福祉のコーディネーター
が増えています!!!



今、地域共生社会の実現を目指す様々な施策に基づいて、私たちの町では、地域福祉のコーディネーターが増加しています。

平成30年9月12日、塩尻市で開催された第67回長野県社会福祉大会では、各地で活躍するコーディネーターと住民活動リーダーがペアで参加していただき、トークセッションを繰り上げました。



ゲスト：河田圭子氏 (新潟市) 支え合い活動と行政とのパートナーシップ

介護体験から「居場所」を開設
介護保険がなかった時代、介護離職して親を介護。一人ではなく支え合うことの重要性に気付いて、自宅を開放するなど支え合い活動に取り組みました。その後、空き家を活用した常設型のサロン「うちの実家」をボランティアで10年ほど運営。
行政からの「受託」ではなく「協働」
介護予防体制整備事業の導入に伴い、新潟市からの依頼で「うちの実家」の活動を全市に広げようと奮闘中。あくまで一任意団体として、「事業受託」でなく、市との「協働」にこだわり、支え合い活動としてのポリシーを大切にしています。

飯田市南信濃遠山地区 住み続けられる遠山を目指して

南信濃地域福祉プロジェクト
「課題が多すぎる」「何かしたい」とメンバーが集まり、地域愛を育む“声かけカレンダー”を作成し住民に配布。緊急時に対応できるよう家族や友人、支えてくれる人の名前や連絡先が書ける“安心メモ”を作成して、高齢者宅に配布するなどの支え合い活動に取り組んでいます。
今後は、高齢者などに対象を限定せず元気な人も使える独自の移送サービスを検討するなど、住民同士が課題を捉えながら地域活動を展開しています。

南箕輪村 Iターン住民が手作りでした「地域の居場所」

地域包括支援センター
村では「なるほど地域塾」などを開いて、地域で何気なく行われている支え合いの発掘・再評価に取り組んでいます。その活動のなかで、この事例に出会いました。
地域の居場所
ご主人が定年退職後に村に移住。長年の夢であった自作の小屋づくりに着手。奥さんが希望した卓球台を小屋に入ると、住民が気軽に立ち寄りおしゃべりをする地域の居場所になり、集う人の和が広がっています。

塩尻市木曾平沢宮下地区 「お助け隊」の有償助け合い

お助け隊
定年退職後、家でぶらぶらしているくらいなら、何か活動しようと立ち上がったお父さんたちが主役。草刈りや雪かきの助け合いで高齢者を支援。また、雑木の伐採などで安心して散歩できる遊歩道を作り、身に着けた技術を活かし、地域の魅力作りに取り組みます。
地域福祉コーディネーター
社協のコーディネーターは、この取り組みを元に、有償支え合いサービスを立上げ、全市に普及しようと呼びかけています。

長野県社会福祉大会 (ご報告)

第67回長野県社会福祉大会「大会アピール」

- 1 地域共生社会の理念の浸透を図り、福祉教育を推進していきましょう!
- 2 包括的な相談体制の構築に向け、連携と創意工夫に取り組みましょう!
- 3 地域における公益的な取り組みを、力強く推進していきましょう!
- 4 地域福祉計画の策定、改定を住民参加で進めましょう!

平成30年9月12日

第67回長野県社会福祉大会参加者一同





生涯現役! みんなが主役の 行き活き農村広場

連絡先 南牧村社会福祉協議会 TEL.0267-96-2363



目の前に八ヶ岳連峰が広がる野辺山高原。キラキラと光る太陽の下、いきいきと農作業を行う姿が目にとまります。

2017年に開始した“行き活き農村広場”には、65歳以上の高齢者が集まります。きっかけは、村の保健師の訪問から始まりました。日々の暮らしに様々な工夫を活かして生活している元気な人生の先輩方に出会い、「まだまだ色々なことができる方々が、家でじっとしているのはもったいない。いつまでもいきいきと人に感謝されることを大事にしていきたい。」と高齢者が主体的に参加できる場づくりを検討し、村と社協が連携して展開しています。農作業や体操、小学生との交流、お出かけ、季節のイベントなど、力を合わせて色々な活動を行います。原則として月曜日と金曜日の週2回、野辺山駅近くの旧観光案内所で開催されます。

この日は農作業を行いました。社協の送迎車や軽トラックで集まり、畑に移動します。とうもろこしやトマト、ズッキーニ、ピーマン、大豆など、参加者が愛情込めて作った野菜が畑に広がり、「今日は何から始める?」「今日は花の苗があるよ!」「私これやるね!」と声が飛び交います。収穫した野菜は昼食に食べたり、分けあったり、直売所に売ることもあります。

88歳の男性は、「みんなと一緒に笑いながらできることが楽しい。年を取っても家にいるっきりじゃだめだよ、よけい年寄りになっちゃう。」と話しながら苗を植えています。

この広場は、“みんなが主役”“みんなが先生”と参加者は話します。農業の経験がある方が他の方に教え、その方がまた先生になって教えます。「さっき教えたばかりなのに、いつのまにか先生になってるね。」とお互いに笑顔で作業を進めます。参加者それぞれが、“できることをできるだけ”“無理せず”おこない、お互いさまの関係ができていくことも特徴です。

行き活き農村広場に参加することで、皆さんの張り合いや生きがい、健康につながります。村の保育園児や小学生との交流、地域を越えた他の村との交流も生まれています。広場の歌も作られ、歌詞には、♪知恵の集まり 生かして集う♪とあります。ここには農業や木工、手芸、料理など様々な経験とアイデアが詰まっています。“生涯現役”という言葉が似合う元気な皆さんや、たくさんの知恵や経験、畑の実り、豊かな自然など、広場には宝物がいっぱいです。



青空の下、協力しながら笑顔で農作業を行います。

ボランティア
全国フォーラム
軽井沢2018

平成30年11月3日(土)～4日(日)に 軽井沢大賀ホールをメイン会場に開催!!!

地域はもちろん、学校でも、会社でも、生活の中に当たり前ボランティアやボランティアな精神が息づく、そんな社会をめざし、ボランティア全国フォーラム軽井沢2018で参加者の皆さんと想いを共有し、ともに考え、全国に発信していきましょう。皆さんのご参加をお待ちしています!

フォーラムの準備状況や参加などについての詳細はコチラ

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018

facebook / <https://www.facebook.com/karuizawa2018/>

ホームページ / <http://www.karuizawashakyo.com/>

facebook



ホームページ



分科会PR
vol.5

人を動かし、 地域も動かす“5つの気”

長野県の中山間地から発信される地域を考えるきっかけやアイデア、地域を支える“人”や“気”について熱く語り合います。



よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい風を吹き込むスタッフをご紹介します。

社会福祉法人 稲田会
かざぐるま保育園
保育士 小梁川真耶さん(左)
保育士 湯澤美穂さん(右)



webでも
ご覧になれます



「お互い様」の気持ちで雲間気の良
い園づくりを心掛けている。



子どもが喜ぶ瞬間を分かち合える醍
醐味。「先生大好き!」も嬉しい。



年長のころからの夢「保育園の先生」
を叶え働く姿がまぶしい。



朝は「いってらっしゃい」夕方は「おか
えりなさい」明るい声が響く。

Q 今のお仕事の内容を教えてください。
A 0歳児クラスを担当しています。0歳児はすべてがかわいく、心も身体も一番成長する貴重な1年です。食事、だっこ、オムツ交換など、全て支援が必要ですが、しゃべれなくても、ちゃんと想いは持っているので、表情や動きから汲み取り、子どもたちの目線に立って話しかけ、一緒に成長しています。

産 休・育休明けから長時間保育してほしいという働く母の願いに応え、かざぐるま共同保育所として誕生し50年。現在は、子育て支援センターも開設し、障がいを持つ子どもの保育にも積極的に取り組むなど、地域に欠かせない保育園となっています。子ども、保護者、職員、地域の4つの羽根で、健やかに子どもたちが育つようにとの願いが込められたかざぐるま保育園。自身も産休・育休を経て保育士として働き続けている先生お二人にお聞きしました。

Q 大切にしていることは何ですか。
A 朝夕、保護者と顔を合わせるときに、できるようになったことやその日の姿をお伝えし、喜び合えるよう心掛けています。こまめにお話しすることで信頼関係にもつながると思います。担任と保護者という関係だけでなく、ともに働くお母さんとして、共感し、サポートできるようにしています。
Q 福祉の道を目指す人へ一言お願いします。
A 子どもたちの成長する瞬間をとても元気をもらえる保育士という仕事はとてもやりがいがあります。かざぐるま保育園では、複数担任で保育しているので、ベテランの先生が当たり前にしていることに気付けたり、いろんな角度から子どもを把握できたりと学ぶことも多くあります。また、若い先生の一生懸命な姿も励みになり、お互い良い刺激を受けながら保育しています。

今月の逸品

すてきにハンドメイド
さをり織りバッグ

想い思いに織られた布が織りなす色のハーモニーが詰まったオンリーワンのバッグです。素敵な出会いが待っています。

社会福祉法人しあわせ
就労継続支援B型事業所「クロスロード」
〒387-0016 長野県千曲市寂蒔410-1
TEL.026-274-3485 FAX.026-213-7315



・バッグ …4,000円〜

ざわめくアート



『Soraへ』 切り絵 CGで彩色

作者:風朔 ぴこ(かざさく ひこ)

あたしの翅はまだ小さくて、あなたのように自由には飛べないけど、いつかあなたのように、大きな翅を広げて自由に大空を飛び廻りたい。

あの空の向こうに、果てしない世界が広がっていて、あたしが飛んでいくのを待っているに違いないわ。

そこには、大空を自由に乱舞する未来のあたしの姿が見える。

(作者コメント)

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へお寄せください。

webでもご覧になれます

長野県 社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nshyakyu.or.jp

長野県 社会福祉協議会	福祉・ 介護べんり帖	長野県福祉研修実施団体 きやりあねっと	信州福祉・ 介護のひろば